

## 日本歯周病学会第21回歯科衛生士教育講演会の報告

特定非営利活動法人日本歯周病学会第21回歯科衛生士教育講演会を以下のように開催いたしました。

**研修会名：**日本歯周病学会第21回歯科衛生士教育講演会(社団法人日本歯科衛生士会 第3次生涯研修)

**主催：**日本歯周病学会(歯科衛生士関連委員会)

**協力：**群馬県歯科衛生士会

**日時：**平成21年10月25日(日)13:30~16:30

**場所：**群馬県歯科医師会館 5階ホール(群馬県前橋市大友町1-5-17, TEL/FAX027-253-3368)

**演題：**「歯周病, その原因, 症状の説明に必要な知識」  
・歯周病とは(分類, 特徴, 多様性と再発の危険性等)  
・原因, 症状の説明に必要な知識(組織学, 病理学, 細菌学等)

**講師：**日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会委員 小田 茂

**研修単位：**(1)(2)の両方に該当する場合は, (1)(2)それぞれの単位取得が可能

- (1) 日本歯周病学会 会員の場合
  - ・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位(参加者8単位)
  - ・更新時の生涯研修単位(10単位)
- (2) 日本歯科衛生士会 会員の場合
  - ・第3次生涯研修制度に基づく専門研修単位(歯周治療の基本技術3単位)
    - I-A 歯周病とは(分類, 特徴, 多様性と再発の危険性等)1単位
    - III-C 原因, 症状の説明に必要な知識(組織学, 病理学, 細菌学等)2単位

**日程：**13:00 受付  
13:30 開会  
13:40 講義「歯周病, その原因, 症状の説明に必要な知識-検査, 診断と治療の進め方, 検査項目-」  
15:20 休憩  
15:30 講義「日本歯周病学会認定歯科衛生士について」(茂木美保委員)  
15:40 講義「プラーク性歯肉炎・慢性歯周炎・侵襲性歯周炎・咬合性外傷の診断」  
16:30 質疑応答  
16:40 閉会

**内容：**受講生は160名の歯科衛生士及び歯科衛生士学校学生であった。始めに, 群馬県歯科衛生士会会長の挨拶, 続いて, 茂木美保委員の日本歯科衛生士会とのコラボの説明後, 講演にはいった。演題の範囲が広すぎるため, 歯周病の状態を把握するために必要な歯周組織検査の知識の確認の講義を行った。内容としては, 「歯周病の検査・診断・治療計画の指針2008」に従って, 細菌感染・炎症の検査項目(プラーク付着状況: O' Leary のプラークコントロールレコード, 歯周病原細菌検査, 歯周病原細菌に対

する抗体価検査，プロービング時の出血)，歯周組織破壊の検査項目(プロービングポケットデプス，アタッチメントレベル，歯槽骨吸収度：水平・垂直性骨吸収，根分岐部病変)，咬合とリスクファクター(歯の動揺度，早期接触，ブラキシズム，喫煙・ストレス，歯周病に関連する全身疾患)であった。その後，休憩をはさみ，日本歯周病学会認定歯科衛生士取得の説明後(茂木美保委員)，診断と治療の進め方ということで，プラーク性歯肉炎・慢性歯周炎・侵襲性歯周炎・咬合性外傷の診断について簡単に講義を行った。

**感想：** 講演後のアンケート結果から，受講者が，ベテランから学生までと幅広いため，求めるものも多岐にわたっていることがわかった。今後は，講演題目を絞り，対象をある程度絞り込むことが必要と感じられた。さらに，基礎的知識の確認に講演内容がなくなってしまうのは致し方ないところはあるが，認定試験のPRを兼ねて，認定試験のケースプレのような形で，開催地の認定歯科衛生士が症例発表を行う時間帯を盛り込み，認定歯科衛生士がプレゼンを行う場を提供するなど，講演時間の一部を参加型の教育講演会にしてもよいのではないかと思われた。

以上

文責 日本歯周病学会認定歯科衛生士関連委員会委員 小田 茂



会場風景